



情報・コンピュータ・デザインの仕事

システムエンジニア

通称SE。クライアントのニーズに合わせてコンピュータシステムの開発・設計を行う。システム化する内容を理解して、最適なソリューションを提案することが必要。



- ポイント 1** コミュニケーションが活かせる
ユーザーの意向をつかんだり、制作スタッフと意思疎通を図ったりする必要があるので、コミュニケーション力が求められる。
- ポイント 2** いろいろな分野に関われる
総務計算システム、文書管理システム、工場自動化システムなど関連する分野が多岐にわたるので、さまざまな分野に関われる。

必要資格 特に必要な資格は、情報技術者(基本・応用)ITパスポート(国家資格)、情報検定(準)高等学校教育課程(情報)などとなっている(上記資格は任意)。

勉強できる対象校 ●専門学校穴吹コンピュータカレッジ ●四国総合ビジネス専門学校

プログラマー

SEが作ったプログラムの仕様を元に、プログラミング言語を使って実際にプログラムを組み立て、正常に動くかどうか確認しながら細かい部分までの開発をする。



- ポイント 1** 新しい人材に期待が集まる
コンピュータの技術革新が進んでいるため、新しい言語やOSなどを生み出せるプログラマーが必要とされている。
- ポイント 2** 専門分野を極められる
活版屋の多く、プログラミング言語やスクリプト言語がそれぞれ異なるので、ひとつの専門分野を極めたい人には向いている。

必要資格 特に必要な資格は、情報技術者(基本・応用)ITパスポート(国家資格)、情報検定(準)高等学校教育課程(情報)などとなっている(上記資格は任意)。

勉強できる対象校 ●専門学校穴吹コンピュータカレッジ ●四国総合ビジネス専門学校

グラフィックデザイナー

ポスターや商品のパッケージ、書籍、看板など、商品の宣伝・販売にまつわる平面デザイナーを制作する。デザイナーだけではなく、スケジュール管理や印刷・製版の知識も必要。



- ポイント 1** 感性と知識が活かせる
クライアントの利益をむねむね理解してデザイナーが選ばれる。知識の広さや行動力、実践力によって活躍範囲が広がる。
- ポイント 2** フリーでも活躍できる
デザイン会社や広告代理店、企業の宣伝部門などに勤務するほか、フリーで活躍するデザイナーも多い。独立開業もしやすい。

必要資格 特に必要な資格は、デザイン検定(国家資格)情報検定(準)Webデザイン検定(準)などとなっている(上記資格は任意)。

勉強できる対象校 ●専門学校穴吹デザインカレッジ

Webディレクター

Web制作におけるリーダー的存在。Webサイトの構成要素を決め、制作プランを作成して、Webデザイナー、コピーライターなど制作スタッフからの的確な指示を出す。



- ポイント 1** マルチな才能が活かせる
技術やセンスなど、企画・運営管理、デザインや問い合わせなど、制作全般に目を配るため、マルチな才能が活かせる。
- ポイント 2** インターネット時代に需要増
インターネットの需要は高まっているので、Webディレクターとしてのニーズは高い。ただしWebデザイナーとしての経験も必要。

必要資格 特に必要な資格は、情報技術者(基本・応用)ITパスポート(国家資格)、情報検定(準)高等学校教育課程(情報)などとなっている(上記資格は任意)。

勉強できる対象校 ●専門学校穴吹コンピュータカレッジ ●専門学校穴吹デザインカレッジ ●四国総合ビジネス専門学校

他には

- システムアナリスト
- アプリケーションエンジニア
- セールスエンジニア
- PCインストラクター など

ITのエキスパートになりたい
ビルやジョブに憧れている
文化祭のポスター作り、張り切った

こんな人にも聞いてほしいかも!

この職業のホンネの話



地方創生推進センター 勤労システムエンジニア 武内 翔太さん

コンピュータが好きという気持ちがかきつけ
中学生の時にパソコンを購入したことがきっかけでだんだんコンピュータが好きになり、高校と専門学校の学習に進みかけた。この仕事に就きたいという気持ちから、絶対にシステムエンジニアになるという気持ちに変わったのは、高2の時。専門学校の資料を比較検討し、自分に合っていると感じ専門学校を選びました。

ひとつの分野の高度な内容が学べる
専門学校に入ったよかったのは、コンピュータ好きなという生徒が多く、同じ趣味の友人をつくりやすい環境だということ。幅広い勉強をする大学と違い、ひとつのことを深く学ぶため、かなり高度な授業内容も多く、甘めゆるめされませんが、それが社会に出て活かされると思います。

さまざまな知識と技術を習得できる仕事
すべての業務において正確であることが求められるシステムエンジニア。自分のミスが直接大きな問題につながる可能性がある職業なので、責任は重いと思います。ですが、コンピュータシステムについてさまざまな知識を吸収していただけるのがこの仕事の良さ。奥の深いコンピュータ技術を目の当たりにするとこの仕事を選んでよかった、と感じます。

